

「飯田茂実 + e-dance 仙台」 八戸公演レポート

渡邊曜平



異なる形態が通常の鑑賞とは別の回路を開く。作品で語られる身体の健康や命の大切さ、母への愛、



この作品でも出演者は、ときどき役をはなれ、自分自身のまま舞

飯田氏自身の日常が作品として舞台の上に延長されている。一般的な舞台芸術作品として観ると混乱するが、この作品の一種

ながら体は舞踏的な動きを始める。語る内容は、この動きについての話や、命や身体についての飯田氏の考え、個人的な生い立ちや体験などが、身体の動きを伴いながら観客へと語られる。テキストではない、飯田氏自身の独白。誰かを、何かを演じることはせず、

冒頭で日本の年間自殺者数についてのテキストが語られる。「命」は今回の公演を貫くテーマの一つのよう

だ。この作品は、別れや死、絶望などを執拗に描くことで、命の大切さ、人の絆、人生に見いだすべき希望を描こうとしているように見える。前半は明るい部分も多いが、後半は悲惨で重苦しいシーンが続く。見ていてつらい場面もあるが、少ない台詞と動き、淡々と

した演出ながら巧みな構成で目を離せない。終盤には個々のエピソードが解決して安堵が訪れるが、暗い雰囲気が一掃されるわけではない。だが、最後に全員が立ち上がり観客へ正面を向ける場面では、これからも訪れるであろう不安や絶望に立ち向かう意思の力を



台に立っている。制作段階でそれぞれが自分のことを語り、その内容を作品に盛り込むようだ。大震災の影響も大きく、そのことが直接的ではないが編み込まれているに違いない。

会場からはすすり泣きが聞こえていた。自分の中の深く暗い部分へ沈降させる作品だ。1本のストーリーに貫かれた作品は、私たちを登場人物に同化させ最後まで連れて行ってくれるが、断片的エピソードの連続は、物語への同化を拒否し、常に自分自身へと立ち返らせるのかもしれない。

今後の八戸でこのような作品の上演機会が増えることで、八戸にも新しい表現の意思が生まれることを願っている。



※写真は仙台公演

Friday Amusement Negative Shop

○FANS予定 第913回~916回 タイトル:レフト・アームズ・ストーリー / 脚本:加藤健太郎 / 構成・出演:田中勉
日時:8/12, 26 19:30開演 8/6, 20, 27 14:00開演 ※開場は30分前

演劇空間
スペースベン

■八戸市柏崎1-11-8
TEL. 0178-43-9876
FAX. 050-3588-8350
携帯. 080-6025-0990

※特別番組以外全て午後7時30分~、料金/一般前売400円 高校生以下100円(当日100円増)
※チケットはスペースベンにて販売。スペースベンの上演内容は、ホームページまたはメールマガジンでご確認下さい。
HP <http://spaceben.com/> [Eメール] owner@spaceben.com

8月号好評発売中!

●今月のテーマエッセイ

麵

ご再麵どうぞ.....	館	光	子
ふぞろいの調理師.....	佐	間	寛
カナダのMEN.....	久	見	佳
「ほうとう」と「吉田のうどん」.....	地	拓	哉
麵・変面.....	谷	充	一
麵といえば蕎麦!.....	柳	雅	
	小		
	岩		



●今月のインタビュー

シエールココピザ屋 代表
おがさわらかずひろ
小笠原一博さん(56歳)に聞く

読む楽しみ 読物満載

毎月ご愛読ありがとうございます

発行所/うみやま出版社
八戸市六日町10いわとくバルコ3F
TEL:FAX 0178-44-6636